

にかほ市のあるべき未来を描く 人づくりから地域づくりへ

にかほ市若者100人会議

にかほ市若者100人会議
委員長 佐藤 玲 さん

にかほ市大竹出身 - 48歳
東京、千葉でのサラリーマンを経て28歳の時に帰郷し店を継ぐ。現在は、佐藤勘六商店の4代目として、いちじく関連の事業とお酒の販売に尽力する。



コロナ禍にあっても、老若男女問わず誰しもがにかほ市のあるべき未来を思い描きます。明るい未来、夢ある未来、豊かな未来。しかし、その前に立ちふさがるのは「少子高齢化」という数十年に亘って聞き馴染んでくるようなフレーズ。人口減少の根幹である難題を前に、若者自らがプレーヤーとなって現状を把握・分析し、ゼロベースから企画する「にかほ市若者100人会議」が、5月31日に発足しました。

今号では、若い世代による新たなコミュニティを代表して、委員長の佐藤玲さんにこれからの想いを伺いました。

「にかほ市の現状と向き合い

ふるさと・にかほに戻ってきて20年になります。当時から人口減少と言われていましたが、私の周りでは危機感はなく私自身も実感していなかったと思います。実際、子どもの姿が見えていきましたし、合併や閉校を繰り返しながらも地域コミュニティというものは保っていました。

それが今では、にかほ市に限ったことではなく地方部の人口減少は顕著です。例えば自転車通学する生徒の姿を見ることが減り、通学は親が送迎するの

「100人会議をとおって

立ち上げ会議の際、市から総合発展計画と地方創生についてレクチャーを受けました。それを念頭に、にかほ市を俯瞰して見るとギリギリのラインで運営しているんだなと思いました。例えば広報紙です。月2回発行しているのは由利本荘市を含めて県内では少数です。もし、人口減少が続く市職員が削減になると最低限の行政サービスだけになる懸念があり、広報紙の充実まで余裕がなくなるでしょう。私たちが今、手を打たねば時すでに遅し…になります。

今、100人会議では4つの部会に分かれテーマごとに協議しています。いずれ事業提案として市に提出することになりますが、立ち上げから約半年でするので早熟かもしれません。

それでも、まずは人づくりから、そして地域づくりに繋げていければと考えています。

委員を募集中

- ▽募集対象/概ね20〜40歳代の方
- ▽任期/委嘱の日から2年(報償費を支給)
- ▽応募方法/①住所②氏名③年齢④性別⑤職業⑥電話番号⑦応募の動機を記載しメールで応募
- ▽問合せ/にかほ市役所 まちづくり推進課

が普通のことになりました。過保護とは思いませんし防犯の面では最良のことです。世の中の価値観が変化したのでしょう。ほかにも病院が少なく不安、魅力的な商業施設がないなど、決定打ではないけど些細なことは蓄積しています。根深いからこそ解決策を見出すのが難しいんだと感じています。

「若い世代が参画する」

「自分は工場勤めだし、地元は好きだけど何もできない」と言われたことがあります。確かに今回の100人会議の構成委員は現在、起業家や事業主、市の事業やイベントに携わっている人など、こう言うと語弊があるかもしれませんが、いわゆる表立って目に留まる活動をしている人が大半です。実際、皆さんも「この人知ってる。見たことある」となるはずですよ。

ですが、「工場勤めで毎日同じ作業をしている」そういう人こそ私は立派だと思ったり、プライベートでは多趣味であったり面白い考えを持っているんじゃないかって期待しています。きっかけはメジャーな人に引張ってもらった方がいいと思います。一人が一人と繋がるだけでも関係人口は増えますし、私も

さまざまな人と関り引き上げてもらって今があります。最年長だからこそ、今度は自分が引き上げる番だと思っています。

若い世代と言っても計画するのは人、作るのも人、続けていくのも人、最終的には「人と、そして「繋がり」です。

「ちやうどコミュニティ

人が繋がればコミュニティが生まれます。コミュニティはさまざまな場面で多様な話が展開するわけで、今まで自分のテリトリーでなかった話題などに興味を沸いてきたりします。そして、新しく取り組みんでみることで、新しく自分を磨きあげることができると思っています。



▶100人会議の「コマ」(わかほにかほ)

少し話は逸れますが、今、にかほ市の人口は令和3年6月30日現在で2万3,622人です。3町合併時の平成17年10月1日現在では2万9,542人いましたので、単純に5,920人の減となり、自然減と社会減の比率は分かりませんが、年平均で約370人ずつ減少していることになりました。

ここで人口の話をしたのは、「にかほ市は人口2万5,000人がちやうどいい市」になれればいいんじゃないかって思うんです。人口100万人以上の仙台市のような大都市が好きなのは、人口10万人レベルの秋田市のような所を望む人、極論では無人島で暮らしたい人もいるわけですよ。じゃあ、にかほ市は？ となったとき、「2万5,000人だから好き！」ってのもアリなんじゃないかなって。みんながちやうどいいくらい人を知っていて、悪いことをすればすぐ分かりますよね。さすが住みよきランキング3年連続秋田県1位です。子ども医療のほかにも、交通・防犯の部門で高評価を受けて堂々V3だそうです。

人口2万5,000人が売りのにかほ市。そこで「ちやうどいいコミュニティ」を広げてみませんか。